

穂学



令和5年度

広州日本人学校 学校便り

[No.7]

令和5年7月26日(水)

発行責任者 校長 加藤康徳

「PTA夏祭りが開催されました。」

<学校経営のスローガン>

「つながり」を「未来に実感」させる

広州日本人学校の創造



<大切にしている5つのつながり>

- ①先生とのつながり
- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり
- ⑤中国とのつながり



<PTA夏祭り 7/22>

私がこの学校に着任して3回目のPTA主催の行事でしたが、昨年までは外部から人を入れて開催することはできませんでした。今回このように盛大に会を催すことができ本当に良かったです。

当日は総勢約800人の大人と子どもが広州の夏のひと時を各会場で楽しんでいました。PTAをはじめとする関係者の皆様、協賛して頂いた企業の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

これからも子どもたちの健全育成のために、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



<ダンスの発表(子ども)>



<空手の演武(子ども)>



<教員による音楽発表>

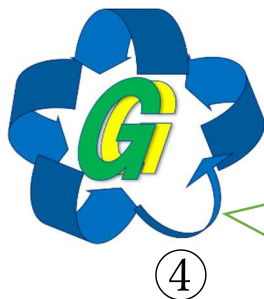


<コーラスの発表(大人)>



※子どもたちも保護者の方もみんな笑顔で帰途につきました。

「各種アンケートの回収率について」



現在のアンケートは、このようなつながりのイメージになっています。

今年度に入り、各種アンケートを簡単に行えるようにとデータによる送信をお願いしているのですが、保護者アンケート等の回収率が昨年度に比べ（昨年度はほぼ 100%）低いです。子どもの教育活動の方向性を探るための大切なアンケートです。必ず送信していただくよう、ご協力をお願いいたします。

「日本でも事故・事件に遭遇しないために」

この夏、日本に一時帰国、または本帰国するご家庭があるかと思います。日本の夏は、水難事故や交通事故、不審者との遭遇等が多発する時期です。決して「日本だから」と安心することのないようにしてください。

<日本でも次の事を守ろう！>

- 食事、起床、就寝の時間を考え、健康的な一日の生活リズムをつくる。
- 家事の分担などを通して、家族の一員としての自覚と責任が生まれる場をつくる。
- 自然とのふれあいや地域行事への参加を通して、豊かな心をはぐくむことができるように心がける。
- 花火や水の事故など夏型の事故にも注意を促し、きまりを守ることの大切さが自覚されるようにする。
- 道路への飛び出しや自転車での事故、近所の危険箇所の確認など、交通等事故防止について心がける。
- 川では絶対に泳がない、近づかない、プール利用のきまり、海水浴場のきまりは必ず守る等、水難事故にも気を付けましょう。
- 不審者に出会ったり、知らない人に誘われたりしたときの対処の仕方をいつも確かめておく。（交番・子供110番の家・お店などに助けを求める）
- 暑い日が続くようです。外出する時は、帽子をかぶる、水分補給を十分にとる等、熱中症にならないような対策をとる。
- 子どもの外出先や帰宅時刻については、必ず確かめるようにする。

「1学期の学習の成果です。」



<小1年 図工科>



<小3年 社会科>



<小2年 生活科>